

あけましておめでとうございます。

平成元年（1989年）の最初7日間はまだ昭和だったが、この珍しい昭和64年生まれの方に外来でお会いした。同年総出生数から割り出すと全国で23,900人余、2月29日生まれ（計算上現在約86,730人が存命？）より遥かにレアである。改元と言われて思い出すのは大学5年次、同窓の長身男子学生達だけが大喪の礼に駆け出されたこと。男女差別と区別の境界は常に難しい。

（編集委員 関根さおり）

今年は鹿児島ユナイテッドが悲願のJ2に挑戦します。強豪ばかりで厳しい世界だと思いますが、J2昇格を決めた鴨池でのゲームのように気持ちの入ったプレーを見せてほしいものです。大きな楽しみが出来ました。LIVEは刺激的です。みんなで白波スタジアムに足を運んで応援しましょう！近い将来J1を目指せることを夢見ています。猪突猛進！？あるかもしれません。

（編集委員 今村 直人）

故小淵元首相の掲げた「平成」を初めて目にしたのは、当時研修していた救命救急センター医局のテレビ画面で、今でも良く覚えています。では今度の新元号はどこで、どのようにして知るのでしょうか。テレビでしょうか、それともスマホでしょうか。それでは、その次の改元は？・・・是非立ち会いたいものですが、一体どんな世の中になっているのでしょうか。

（編集委員 森岡 康祐）

今年は、元号も変わり新しい時代がやってきます。どんな事柄が起きるのかとても楽しみです。10月から消費税が10%に上がる予定ですが、憲法改正が悲願の安倍首相が参議員選挙を控えて一時凍結なんていうサプライズもあるんじゃないかと思っているのは、私だけでしょうか。わずかですが期待したいと思います。

（編集委員 角 純啓）

今年の干支は亥。昨年は廃用になったダムに迷い込んだ野生の猪の救出作戦が少し話題になりました。私は年男ではありませんが、キャラ的には似合っているらしく、何となく親近感を感じます。今年で平成も終わり新元号に変わりますし、ラグビーのワールドカップも日本で開催されます。何かと話題の多い年になりそうで今から楽しみです。

（編集委員 寺口 博幸）

新天皇が即位する5月1日が祝日となるのでGWは10連休という人も多く、長期旅行を予定中の先生もおられるでしょう。一方では、長期休診でフォローできない患者さんや急性発症した患者さんへの対応に苦慮する懸念も出てきそうです。市内に23医療機関しかない皮膚科は半分の医療機関が当番医を引き受けねばならず、当番日によっては待望の長期旅行が夢と消えそうです。

（編集委員 島田 辰彦）

医報の副編集委員長として2018年第8号の編集会議より参加させていただいております。会員の皆さんの貴重な文章を発行前に読むことができますことは非常に幸いなことであると感じております。2018年は自然災害で多くの方が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。2019年が会員の皆様にとりましてより良い年でありますように祈念いたしております。

（副編集委員長 帆北 修一）

昨年7月から編集委員長に就任いたしました。これまで同様に今年も鹿児島市医師会を取り巻く種々の情報を会員の先生方にお伝えするために、編集委員の先生方とともに、より質の高い誌面づくりに励みます。随筆、学術や鹿市医郷壇などへの会員の先生方からの積極的なご投稿をお待ちしています。今年もよろしくお願い申し上げます。

（編集委員長 長友 医継）